



キャリア通信

夢をはぐくむキャリア教育



～ 大好きな自分 ないたい自分 みんなと生きる自分 ～

平成 27 年 3 月 24 日 No. 23

～ 最終号 ～

夢をもち 目標に向かって動き出せる子どもに!!

集計結果
は裏面に!

アンケートの結果から

設問1 『夢の実現に向けて努力しているか』

では、ほぼ全校の児童が『はい』と答えています。
なりたい自分や叶えたい夢に向けて、子ども達は動き

始めていることがわかります。設問2 『勉強したことはこれからの役立つか』においても、ほとんどの子ども達が役立つと考えています。『これから』という時の範囲が広いことが要因であると考えられます。設問3の① 『どのような勉強が役立つか』の質問では、四則計算や漢字・言葉の学習に次いで、体のことや運動がどの学級においても多く見られました。数字としては、低学年がこれらの項目に偏っていたのに対し、中学年、高学年と学年が上がるにつれ、人とかかわりや心のこと、地域についての学習など、視野の広がりが感じられる解答が見られました。このことから、低学年では、学習したことが次の学習につながるととらえており、中学年・高学年では、少し先のことをとらえて日々の学習をしていることがわかります。設問3の② 『勉強の他にどんなことが役立つか』の質問では、友達とかかわりについてが、全校的に多く見られました。中でも、学び合いやコミュニケーション、人との接し方に関することは、中・高学年に意識している子どもが多く、たてわり班についても挙げられていました。これに次いで多かったのが、挨拶・敬語、マナーやルールを守ることについてです。子ども達は、学校が社会性を身に付ける場であることを理解し、学校生活を送っていることがわかります。これも、先生方の日頃からの指導の成果ですね!!

キャリアしなきゅ!! ～子どもの未来につながるキャリア教育～

キャリア教育の実践を重ねるたびに、特別なことを用意しなくてもできる身近で簡単なものだと感じます。どの授業の終わりにも「この時間に勉強したことで、これからの自分に役立つものは何か?」と問いかけるだけで毎時間がキャリア教育になり、子ども達の未来に私たちははたらきかけたことになると思っています。

ただ、これからさらに変化し続ける未来の社会に、子ども達を送り出す私たちがしなければならないことがあるとすれば、以下の2点になるのではないのでしょうか。

- 子ども同士の学び合いが、解決の手立てになることを実感させる授業づくり
- 経験したことや身に付けた知識や技能を生かして、課題を解決できる活用力や応用力の育成

この1年のキャリア教育の積極的な実践、ありがとうございました!